

セキュアアクセスネットワークトンネルにおけるBGPルートアドバタイズメントの不一致

内容

[お問い合わせ内容](#)

[環境](#)

[解決策](#)

[手順1: 特定のネットワークプレフィックスの特定](#)

[ステップ2: タイムラインとパターンの確認](#)

[ステップ3:BGPピア設定を文書化する](#)

[ステップ4: 最近の設定変更の確認](#)

[手順5: ローカルルーティングテーブルを調べる](#)

[ステップ6: セキュアアクセス組織の設定の検証](#)

[原因](#)

[関連コンテンツ](#)

- [お問い合わせ内容](#)
 - [環境](#)
 - [解決策](#)
 - [手順1: 特定のネットワークプレフィックスの特定](#)
 - [ステップ2: タイムラインとパターンの確認](#)
 - [ステップ3:BGPピア設定を文書化する](#)
 - [ステップ4: 最近の設定変更の確認](#)
 - [手順5: ローカルルーティングテーブルを調べる](#)
 - [ステップ6: セキュアアクセス組織の設定の検証](#)
 - [原因](#)
 - [関連コンテンツ](#)
-

お問い合わせ内容

Border Gateway Protocol (BGP ; ボーダーゲートウェイプロトコル) を使用するセキュアアクセス(SAP)サイトツーサイトネットワークトンネルで、設定されている/23ネットワークプレフィックスが/24プレフィックスとしてBGPピアによって学習されるという、ルートアドバタイズメントの不一致が発生しています。Secure Accessで予期されるルートは/23サブネットとして設定されていますが、BGPピアはこのネットワークを/24サブネットマスクで受信および学習しており、2つのBGPピア間のルーティングテーブルに不整合が生じています。

環境

Cisco Secure Access with Networkトンネル(Internet Protocol Security(IPSec)、サイト間)

- BGPルーティングプロトコルの設定
- サイト間VPNトンネルの実装
- /23および/24サブネットを使用したネットワークプレフィックス設定

解決策

このBGPルートアドバタイズメントの不一致を解決するには、次のトラブルシューティングと検証のセクションで、実行する必要がある手順の概要を説明します。

手順1：特定のネットワークプレフィックスの特定

ルーティングの不一致に関係する正確な/23および/24プレフィックスを特定します。BGPピアリング関係のどの側が、予期される/23プレフィックスの代わりに/24プレフィックスをアドバタイズしているかを文書化します。

ステップ2：タイムラインとパターンの確認

問題が最初に発生した時刻を特定し、問題が継続して発生するか、断続的に発生するかを確認します。この情報は、ルーティング動作に関連する潜在的なトリガーまたはパターンを特定するのに役立ちます。

ステップ3:BGPピア設定を文書化する

BGPピアデバイス設定に関する詳細情報を収集します。Secure Accessで設定されている特定の

Network Tunnel Nameについて、このルーティングの不一致が発生しているかどうかを確認します。

ステップ4：最近の設定変更の確認

この問題の原因と考えられる最近の変更について、次の点を調査します。

- 設定の変更
- ルーティングポリシーの更新
- ネットワークアドレス変換(NAT)の設定の変更
- ソフトウェアバージョンの更新
- サブネットまたはネットワークアドレスの変更

手順5：ローカルルーティングテーブルを調べる

設定された/23プレフィックスの代わりに選択またはアドバタイズできる、より具体的な/24ルートがローカルルーティングテーブルに存在するかどうかを確認します。これは、BGPで予期しないルートアドバタイズメントが発生する一般的な原因です。BGPでは、より具体的なルートが、より具体的でないルートよりも優先されます。

ステップ6：セキュアアクセス組織の設定の検証

Secure Access管理インターフェイス内で設定の詳細とトラブルシューティング機能に適切にアクセスできるように、Secure Access Organization ID(PAC)を取得して確認します。

原因

このBGPルートアドバタイズメントの不一致の原因として最も可能性が高いのは、設定された/23プレフィックスの代わりに選択されてアドバタイズされる、ローカルルーティングテーブル内に

より具体的な/24ルートが存在することです。BGPは最長のプレフィクス照合ルールに従います。このルールでは、より具体的ではないルートよりも、より具体的なルート（より長いサブネットマスク）が優先されます。/24サブネットが/23の範囲内に存在する場合、BGPは、より広範な/23ネットワークではなく、より具体的な/24ルートをピアにアドバタイズします。

その他に考えられる原因には、ルーティングポリシーの設定、ルートフィルタリング、またはネットワークアドレス変換(NAT)の設定があり、これらはBGPルートアドバタイズメントプロセス中にアドバタイズされたプレフィックス長を変更する可能性があります。

関連コンテンツ

- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。